

PM 学会 2026 年度中部支部シンポジウム 特別講演の概要



特別講演 1： 情報サービス産業協会 参事 人材委員長 松田 信之氏

●価値共創型マネジメントへの転換 ～JISA 宣言と PMBOK®第 8 版～

生成 AI による自動化が加速する今、PM の役割は「進捗管理」から「イノベーションの牽引」へと移行しています。本講演では、日本の IT 産業の進むべき道を示す「JISA 宣言」と、人間系スキルを重視する「PMBOK®第 8 版」の視点から、AI 時代における PM の付加価値を再定義。技術を使いこなしつつ、人間にしかできない『共創』や『意思決定』をいかにプロジェクトの核心に据えるべきか、その具体的な指針を論じます。

<登壇者紹介>

1982 年中部電力入社 新規事業を含めた様々な IT プロジェクトにかかわり執行役員情報システム部長を経て中電シーティーアイ常務執行役員。2023 年 6 月 日本情報サービス産業協会 (JISA) 参事 人材委員長、ISO56001 イノベーションマネジメントシステム国内審議委員 (JISA 代表)、同 JIS 原案構成委員 (JISA 代表)。高度情報処理技術者 (IT ストラテジスト、プロジェクトマネジメント)、CITP (14000013)



特別講演 2： 立命館大学 教授 吉田 則裕氏

●プロジェクトを成功に導く人材を育てる ～システム工学の視点から～

ソフトウェア開発において、バグの特定と修正は多大な工数を要する課題である。本講演では、仕様とプログラムの不整合を検出し、大規模言語モデル (LLM) により自動修正を行う技術を紹介する。REST API を対象とした事例を中心に、修正精度の向上効果を示すとともに、開発プロジェクトにおける品質向上と生産性向上への活用可能性について議論する。

<登壇者紹介>

2009 年大阪大学大学院情報科学研究科博士後期課程修了。博士 (情報科学) 取得。日本学術振興会特別研究員 (PD)、奈良先端科学技術大学院大学助教、名古屋大学准教授を経て、2022 年より現職。2021 年から 2025 年まで JST さきがけ研究者。



特別講演 3： 能楽師狂言方和泉流野村派十四世当主・野村 又三郎氏

●井の中の蛙が見た大海 ～和楽の世界に生まれて～

江戸時代以前の 16 世紀末から携わり、400 年余に亘り家業・生業として伝統芸能【狂言】を絶える事無く受け継いできた家柄に生まれた者として、加速度的に進むデジタル化・IT 化の時代において逆行とも言える「継承／襲名」「口伝／相伝」という超アナログの分野の在り方や生き方を、半世紀の舞台人生の経験から役者らしい視点・観点でお話します。

<登壇者紹介>

重要無形文化財〔能楽〕総合認定保持者、公益社団法人能楽協会正会員、狂言やるまい会主宰、NHK 文化センター講師、国立東京藝術大学卒業。NHK ドラマ【中学生日記】出演、ハリウッド映画【ラストサムライ】の劇中劇や 21 世紀初の万国博覧会【愛・地球博】の開会式第三部およびミスタードーナツ〈米粉ドーナツ〉のテレビ CM 等に脚本・演出・主演で参加。名古屋青年会議所 TARG 賞／松尾芸能賞新人賞／名古屋市民芸術祭賞・審査員特別賞・精励賞／パチンコ大衆文化・福祉応援賞／芸術創造賞／名古屋市芸術奨励賞／愛知県芸術文化選奨文化賞等を受賞。著書に【我、狂言たれ～又三郎家の楽屋裏でござる～】（風媒社刊）。